

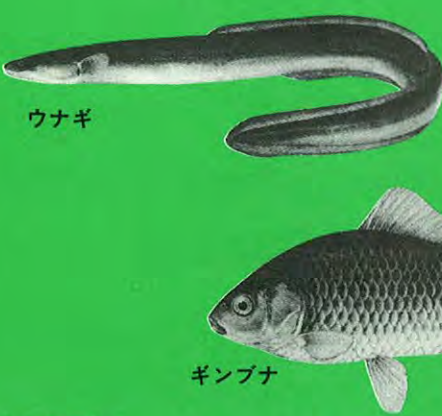


下水道施設が完成するまで手を拱いては汚染は進んでしまいます。そうならないためにも私達人一人ひとりの心がけて改善される多くのことがあるのです。

一、台所の流しには、目の細かい網などを備え、食品カスなどを下水に流さないようにする。

今、私達にできること

二、使い古しのテンプラ油は、下水に流さずゴミとして始末する。



三、洗濯には石けんなどリンを含まない洗剤を適量使用し、洗濯機の排水口にはネットを張って繊維クズが流れないようにする。

四、し尿浄化槽は正しく使い、適正な維持管理を行う。

五、川や海にゴミや空カンなどを捨てないようにする。

このように、各家庭からできるだけ汚物、汚水を流さないよう工夫しましょう。全国的にも水質汚染の問題が論議されていますが、この問題は単に水質だけの問題でなく、水辺環境、生活環境を含んだ広い環境問題として捉えるということが必要です。

清らかな水を次の世代にしっかりと手渡すためにも、まず身近な所から浄化対策に取り組んでみませんか。



(公害規制課)

『特にライバルはいません。結局はすべて自分との闘いでしょ。』

南海ホークス 山内 孝徳 (投手)



大阪地方に七十年ぶりの大雪が降った翌日の二月一日、南海ホークスは堺市、中百舌鳥球場でキャンプ初日を迎えた。南海には去年まで三人の山内投手がいたが、その一人山内孝徳投手は天草の大矢野町出身である。二年連続二桁の勝利をあげ、今年もエース格として活躍が期待されている。

野球を始めたのはいつ頃ですか。小さい頃から兄貴たちと田んぼ野球をしていましたよ。小学校五年生の時、天草郡のソフトボール投げ大会で六十一メートル投げて記録を作ったことがあるので、元来肩は強かったのでしょう。

本格的に始めたのは中学校の野球部に入ってからじゃないかな。海水浴場で有名な弓ヶ浜の近くに住んでいて、泳ぎは得意だったので、三年の時ピッチャーになってからは、肩を冷やさないように海に入らないほど野球にのめり込んでいました。

プロ野球入団のきっかけは、鎮西高校卒業の時、プロの誘いがあったのですが、その時は都市対抗野球出場が夢だったので、地元 electrical 九州に入社しました。

都市対抗野球で、予想をくつがえして優勝候補の東芝を倒し、ベスト四までいった年はすっかり自信もついて南海のドラフトに応じました。

顔が巨人の西本に似ていらっやいですが、ライバル選手はいますか。西本とは年も一緒だし、彼みたいな闘志むきだしのタイプは好きです。

特にライバルは意識していません。如果说えれば自分に勝つことかな。苦しい練習も結局自分との闘いでしょ。入団する前、プロは同僚を蹴落しても這いあがるというような弱肉強食の世界と聞かされていたので、



昭和56年5月14日、西武を相手に完投シャットアウトで二回入り初勝利を飾る。(大阪球場)

プロぐらいじゃないですか。球速より球の伸びが大事ですよ。細かいコントロールを身に付けることが今年の課題ですね。どんなピッチでも逃げないということが僕のピッチングの信条です。そのおかげでかなり打たれてはいるけどね。

今年の南海ホークスはどうですか。今年からユニホームのグリーンが濃くなったでしょう。中味も濃くな

熊本の球児にアドバイスを。野球を始めるときはまず礼儀を学んで欲しい。あとは基礎体力をつけることと基本練習を積み重ねること

山内孝徳投手のプロフィール
熊本県天草郡大矢野町生まれ
鎮西高校一電々九州を経て昭和五十六年南海ホークス入団。通算成績三十勝三十九敗、防御率三・五七。野村選手の背番号十九を譲り受けている。コントロールの良さと強気のピッチングに定評がある。